

IV 学生支援組織

1 教務部

1. 役割・職務

本学の学生が本学の教育理念のもと、教育課程に従い単位を履修し、卒業または修了することが出来るよう支援し、その学籍を保管する役割を担う。

具体的には以下の職務を行う。

- 1) 学籍に関すること
- 2) 成績に関すること
- 3) 教育課程の編成、授業の実施に関すること
- 4) 国家試験に関すること
- 5) 入学試験に関すること
- 6) 国際交流に関すること

2. 活動内容

上記の例年の業務に加え、今年度は以下のことを行った。

- 1) 保健師国家試験受験資格取得について、定員を設けることが周知徹底されていなかったため、2011年度および2012年度入学生に限り、保健師国家試験受験資格取得のための公衆衛生看護学実習を、希望者全員が履修出来ることとし、学生への説明会を開催し、書面で通知した。また、学生便覧、大学案内の見直しを行った。
- 2) グローバル人材育成推進事業のプロジェクトチームの中心的な役割を担い、申請業務を行った。
- 3) 厚生労働省からの看護師特定能力調査試行事業の周麻酔期看護、小児看護、精神看護、老年看護の分野で2年目の調査対象となり、事務処理を行った。
- 4) 組織的若手研究者海外派遣プログラムにおいて、2012年度は教員6名、学生延べ6名の派遣の手続き等の事務処理を行った。
- 5) 「専門的看護師・薬剤師等医療人材養成事業」が2年目となり、2泊3日のチームビルディング力育成合宿セミナーを、ミシガン大学から講師を招聘して実施し、その事務処理を行った。
- 6) 多様な学生の学びに関するプロジェクトのメンバーの中心的な役割を担い、今年度は初めての臨地実習の支援を行った。
- 7) GPA、アドバイザー制、科目ナンバリングについ

て提案し、2013年度入学生より、科目ナンバリングおよびGPAを導入することが決まった。

3. 課題

- 1) 学生数の増加により、大学全体の部屋の割り振りや使い方を検討することが課題であった。講義室Bを教室仕様にし、301, 302, 601, 602教室の机の入れ替えを行い、最大限の座席数を確保した。しかしながら、ますます増加する学部学生数に対し、限界があり、本館以外の場所を検討する必要がある。
- 2) 日々増加し続ける書類や物品を、限られたスペースの中でいかに整理し、機能的に保管していくか検討課題であったが、日々の業務におわれ、改善されていない状況であることは変わっていない。次年度最優先の課題として資料の電子化の検討も含め、教務課全体で検討していく必要がある。
- 3) 公衆衛生看護学実習の実習場開拓に伴う事務処理を遺漏なく実施していく必要がある。
- 4) 科目ナンバリング、GPAの導入をスムーズに実施していく必要がある。
- 5) GPA導入にともない、教務部、科目担当教員、図書館、PCルーム支援員、学生部等との協働・連携を強め、学習支援体制を整えていく必要がある。
- 6) 学部学生および大学院学生の主体的な学習活動を支援するためのe-ポートフォリオの導入を滞りなく進めていく必要がある。

2 学生部

1. 役割・職務

- 1) 学生自治会、課外活動支援、2) チャペル関係、3) 就職・進学、4) 奨学金、5) ホームページ、大学案内、6) 福利施設の利用案内

2. 活動内容

- 1) 学生自治会、課外活動支援：
 - ・毎月1回の学生自治会とのミーティング、学生自治会定期総会の開催支援、学事行事、課外活動等への支援を行った。

- ・自治会主催の白楊祭(学園祭)は、「彩〜未来の色は自分色☆〜」をテーマとして11月3日、4日に開催した。
来場者は、1,111名(前年比+56名)であり、北原茂実氏による「病院がトヨタを超える日〜医療の産業化とは〜」と日野原重明前理事長による「自分をデザインしよう」と題した講演会も開催された。
 - ・本年度も、学生マナー委員会は、体育デーなどの学事行事等でマナーの改善を呼びかける活動を実施した。
 - ・東日本大震災に関連した学生のボランティア活動に対して、昨年度に引き続き、同窓会からの交通費並びに活動費支援の申し出があり、学内メール等で学生への周知をした結果、学部生5名、院生1名の利用があった。
 - ・本学公認のクラブ活動に関し、一部のクラブで、顧問が未確定であったため、全てのクラブに関して、顧問を定めると共に、顧問に活動報告をするよう指導した。
 - ・学生自治会長は10月より山下奈緒子に交代した。白楊祭実行委員長は、組原真祐子がつとめた。
- 2) チャペルアワー委員会のページ参照
- 3) 就職・進学支援:
- ・就職・進学ガイドブックの内容を見直し、冊子として配布した。また卒業生の就職・進学体験談を幅広く多く知りたいという学生からの要望をもとに、「就職・進学体験記」の掲載を就職・進学ガイドブック内からイントラネットの「なでしこ」内へ変更し、該当学年等に周知した。
 - ・3年生後期から4年生前期にかけて就職・進学ガイドブックを用いて、就職・進学ガイダンスを計3回行い(12月・2月・4月)、時期別の就職活動におけるポイントとして、就職・進学先の選定、就職試験の対策、内定を受けた後の辞退の仕方等の説明を行うとともに、卒業生の体験談を語ってもらう機会を設け、就職ならびに卒業後の進路を具体的にイメージできるように工夫した。
 - ・その他では、病院等からの就職案内については、メールを通じて学生に情報を一斉配信し周知を徹底した。また聖路加国際病院への就職者が減少傾向にあったため本年度は病院関係者と話し合いを重ね、リクルートに関する相談の対応と病院主催

の就職説明会のサポートを行った。さらに学生の個別相談に適宜対応した。

- 4) 奨学金: 聖路加看護学園貸与奨学金や日本学生支援機構奨学金など学内外の奨学金制度の学生への説明、募集、選考手続、貸与または給付、返還手続等を行った。学生には、学生便覧・大学ホームページ・学内掲示・大学パンフレット・新入生ガイダンス等さまざまなツールを用いて情報周知を徹底し、さらに奨学金募集説明会にて詳細な説明を行った。この他に随時、個別相談にも対応した。
- 5) ホームページ、大学案内: 学業以外の支援について(クラブサークル活動、学園祭、福利厚生、奨学金等)掲載し、本学の学生が快適で安心した学生生活を送ることができるよう、担当項目について情報発信をしている。
- 6) 福利施設の利用案内: 学生食堂、鎌倉アリスの家、ふじみ野大井テニスコート、同ターゲットバードゴルフ場、スポーツクラブオアシスの利用申込受付、日本看護学校協議会共済会共済制度 WILL の手続、アパート・学生会館の案内等の学生支援を行った。特に、鎌倉アリスの家については、利用者が昨年度より増加しておりリピーターが多く見られるが、防災対策(現地情報収集、備蓄品保管、利用者への指導)を徹底し管理人との連携強化に努め、常に注意喚起を行っている。

3. 課題

- 1) 学生自治会は本来学生主体の活動であり学生部はサポートの立場であるが、今年度は学生間の伝達がうまく機能せず、先輩から後輩への記録引き継ぎにも問題があった。
- 2) 就職・進学状況の変化や学生からの要望にタイムリーに応じるために就職・進学ガイダンスの内容を随時改変することが求められている。来年度以降、イントラネット内の「就職・進学体験記」の充実を図り、病院・施設や職種別に系統的に検索できるようにする。

聖路加国際病院の就職に関するサポート体制を今後も積極的に継続していく。

4. 資料データ

奨学金制度

表1 主な奨学金

名 称	対 象	貸 与 月 額	
		第一種/定額型	第二種/選択型
日本学生支援機構	学部	30,000円または、 自宅外64,000円 自宅54,000円	30,000円、50,000円、80,000円、 100,000円、120,000円から選択
	大学院(修士)	50,000円または 88,000円	50,000円、80,000円、100,000円、 130,000円、150,000円から選択
	大学院(博士)	80,000円または 122,000円	
東京都看護師等修学資金	学部	第一種 36,000円	第二種 25,000円
	大学院(修士)	第一種 83,000円	第二種 25,000円
聖路加看護学園貸与奨学金 *緊急採用奨学金(学納金の額を 限度とする)	学部	30,000円	
	大学院(修士)	50,000円	
	大学院(博士)	100,000円(1998年度より貸与月額改定)	
小澤道子記念奨学金	学部生	60,000円(月額,当該年度のみ)	

表2 2012年度奨学生採用状況

	奨 学 金 の 種 類	配布	申請	採用	
1	高島君子記念看護奨学基金	7	2	1	
2	朝鮮奨学会	揭示のみ	自己申請	0	
3	岡村育英会	22	10	10	
4	茂木本家教育基金	6	2	2	
5	守谷育英会	18	1	0	
6	丸和育英会 休止中	—	—	—	
7	山口県人づくり財団奨学生	1	1	1	
8	石川県奨学生	0	—	—	
9	東京都看護師等修学資金(学部)第2種	2	—	—	
	東京都看護師等修学資金(修)第1種	8	1	1	
10	日本学生支援機構(1年)第1種<予約>	—	—	1	
	日本学生支援機構(1年)第2種<予約>	—	—	6	
	日本学生支援機構(1年)第1種	説明会	17	3	
	日本学生支援機構(1年)第1種<<緊急>>	—		1	
	日本学生支援機構(2年以上)第1種	説明会		4	
	日本学生支援機構(2年)第1種【追加】	説明会		2	
	日本学生支援機構(1年)第2種	説明会		4	
	日本学生支援機構(1年)第2種<<応急>>	説明会		1	
	日本学生支援機構(2年以上)第2種	説明会		2	
	日本学生支援機構(修1年)第1種	26		7	7
	日本学生支援機構(修1年)第2種			2	2
	日本学生支援機構(修2年)第1種			1	1
	日本学生支援機構(博1年)第1種		3	3	
日本学生支援機構(博1年)第1種【追加】	1		1		

11	あしなが育英会	0	—	1
12	川崎市大学奨学生	0	—	—
13	聖路加看護学園貸与奨学金 (学部)	3	3	3
	聖路加看護学園貸与奨学金 (院)	9	8	8
14	小澤道子記念奨学金 (学部)	6	2	2
15	聖路加同窓会奨学金 (学部、院)	13	1	1
16	青木奨学金 (修)	9	3	3
17	ウパウパ奨学金	10	2	2
18	小倉一春記念国際看護奨学基金 (院)	—	自己申請	5
19	有馬育英会助産師育成支援制度 (修)	—	—	—
20	未来の助産師基金	4	3	2
21	財団法人中島記念国際交流財団	学生部室保管	自己申請	—
22	財団法人平和中島財団	学生部室保管	自己申請	—
23	交通遺児育英会	掲示のみ	自己申請	0
24	青峰奨学財団奨学生	掲示のみ	自己申請	0
25	岡田甲子男記念奨学財団	—	自己申請	1

新規採用数合計 81

表3 奨学生内訳表

学生総数 510名 (学部学生 370名・大学院生 140名)

(単位：延人数)

学年	日本学生支援機構			東京都看護師 等修学資金	聖路加看護学 園貸与奨学金	その他奨学金	計
	一種	二種	小計				
4	8	21	29	1	1	3	34
学編4	0	4	4	3	1	5	13
3	10 ^{※1}	16	26	1	1	5	33
学編3	3	4 ^{※2}	7	2	3	5	17
2	9	15	24	3	0	2	29
学編2	2	1	3	0	1	0	4
1	5 ^{※1}	12 ^{※1}	17	0	—	4	21
小計	37	73	110	10	7	24	151
	10%	19%	29%	3%	2%	6%	40%
博3	3	0	3	—	0	0	3
博2	0	0	0	—	0	1	1
博1	4	0	4	—	3	1	8
修3	0	0	0	0	1	0	1
修2	10	3	13	2	6	12	33
修1	7	2	9	1	4	7	21
小計	24	5	29	3	14	21	67
	17%	4%	21%	2%	10%	15%	48%
総計	61	78	139	13	21	45	218
	12%	15%	27%	3%	4%	9%	43%

※1:緊急、応急採用 ※2:1名辞退

表4 奨学生受給状況

年度	奨学金の種類	日本学生支援機構	東京都看護師等修学資金	聖路加看護学園貸与奨学金	その他奨学金	受給総数 全学生数	受給率 (%)
2005(H17)	※1	101	※2 7	34	25	167/455	37
2006(H18)	※3	112	※4 10	41	26	189/476	40
2007(H19)	※5	111	13	40	29	193/480	40
2008(H20)	※2	115	19	44	33	211/477	44
2009(H21)	※1	138	20	※2 43	36	237/497	48
2010(H22)		134	19	※2 33	46	232/510	46
2011(H23)	※6	141	17	19	49	226/510	44
2012(H24)		139	21	13	45	218/510	43

※1 期中辞退2名

※2 期中辞退1名

※3 予約採用5名、追加採用4名、緊急貸与1名、期中辞退者3名

※4 2口貸与1名

※5 期中辞退者5名

※6 期中辞退1名、緊急貸与1名

(1)チャペルアワー委員会

1. 役割・職務

- 1) チャペルアワーの企画・運営
- 2) 「クリスマスの集い」礼拝の準備・担当
- 3) 聖路加国際病院礼拝堂のクリスマス・イブ礼拝でのプロセッション参加学生との連絡調整並びに準備
- 4) クリスマスツリーの飾り付け
- 5) 聖公会関係教職員研修会への参加

2. 活動内容

- 1) 毎週水曜日（12時30分～13時）に聖路加国際病院礼拝堂で実施されるチャペルアワー（礼拝、及び聖路加国際病院関係者や教員から話を聞く月1回の「お話し会」等）を、学生委員が中心となり企画・運営した。今年度はチャペルアワーへの参加を促すため、従来準備していた案内ポスターに加えて、12時20分に学内放送での案内と、参加者にスタンプを捺印するスタンプカードを導入した。また、院生にチャペルアワーをアピールするために、2号館にもポスターを掲示するようにした。

- 2) 2012年12月21日（12時30分から13時45分）の「クリスマスの集い」礼拝で、司会、開会の祈り、聖書朗読などを学生委員が担当。また、学生委員長が話をした。
- 3) クリスマス・イブ礼拝のプロセッションには、表1の通り19名の学生が参加した。プロセッションの参加者を募り、事前練習・当日準備の調整を行った。
- 4) 大学及びチャペルのクリスマスツリーの飾り付けを、学生委員が中心となり有志を募って行った。
- 5) 聖公会関係教職員研修会が8/21に開催され、教員2名と職員1名が参加した。

研修会の内容は、香蘭女学校が東日本大震災当日に行った対応の報告と、松蔭中学校・高等学校が実施している特別なニーズのある生徒への支援についてであった。

3. 課題

昨年度課題としてあがっていた、チャペルアワーの意義を理解してもらい、参加を促す試みに関して、チャペルアワー前の学内一斉放送開始や参加者を対象としたス

タンプカード導入が、今年度参加者数の若干の増加につながったと思われる。引き続き次年度は、大学 HP やフェイスブック・学園ニュース等の媒体を活用して、委員会の活動をアピールし、チャペルアワーの認知度をさらに高めていきたい。

一方で、チャペルアワーの意義が学生や大学教職員に十分理解されているとは依然言い難く、課題は残る。次

年度は、チャペルアワーの運営手順等を整備し、委員の誰が進行しても手際よく行えるようにすることや、その日の参加者に何をもちかえってもらいたいのかを意識した内容づくり、委員以外の人にも企画から参加してもらう等、企画内容や運営方法の見直しを図り、印象に残るチャペルアワーの開催を目指していきたい。

4. 資料

表1 クリスマス・イブ礼拝プロセッション参加人数

	1年生	2年生	3年生	4年生	合計
第1回目	1名	1名	0名	6名	8名
第2回目	6名	0名	0名	1名+学士4名	11名